



新年度がスタート！新型コロナウイルス感染症のまん延を全力で止める！



仙台市議会議員 猪又隆広

御挨拶

令和3年度第1回定例会が閉会しました。
今議会は、新年度をスタートするために必要な「予算」を議論する場であると同時に、喫緊の課題でもある新型コロナウイルス感染症の対策やワクチン接種などを議論する大切な議会でした。予算規模は、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた1兆1,094億円で前年度比306億円増加しました。
現在、本市は県と独自の緊急事態宣言発令期間中であり、国のまん延防止等重点措置また急激な感染者の急増により、市民生活に大きな影響がでております。また、東日本大震災から10年が経過しましたが、直近でも地震が頻発しております。感染対策と地震対策。あらゆる想定の中から、有事の今だからこそ、皆様の暮らしと安心安全を守るために、仙台市議会議員として、引き続き市民の皆様からの声をエネルギーに様々な市政課題に取り組んでまいります。

市政あれこれ：新型コロナウイルス感染症対策（4月8日現在）

宮城県・仙台市 緊急事態宣言発令中！（5月5日まで延長）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたご協力をお願い

申請期限
令和3年5月14日まで（当日消印有効）
（当日提出有効）

当市は、まん延防止等充填措置を実施すべき区域に該当しております。外出や移動の際は十分にお気をつけください。

①新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた営業時間短縮の協力要請について【第5期】

- 対象期間：令和3年4月5日(月) 午後8時から
令和3年5月6日(木) 午前5時まで
- 対象施設：食品衛生法上の営業許可を取得している飲食店（カラオケ店、バー等を含む）
- 対象区域：仙台市全域（県有施設を含む）
- 要請内容：午前5時から午後8時までの時間短縮営業（酒類提供は午前11時から午後7時まで）

②営業時間短縮の協力要請に対する協力金のご案内

| | | 前年度又は前々年度の1日当たりの売上高 | | |
|----------------------|---------------|--|-----------------------------|-----------------------|
| | | 10万円以内 | 10～25万円 | 25万円以上 |
| 中小企業者 | ① 売上高による方法 | 4万円/日×31日 〈124万円〉 | 4～10万円/日×31日 〈124～310万円〉 | 10万円/日×31日 〈310万円〉 |
| | ② 売上高減少額による方法 | 売上高減少額×0.4/日(上限額20万円)×31日 〈最大620万円〉 | | |
| 大企業 (売上高減少額による方法) | | 売上高減少額×0.4/日(上限額20万円)×31日 〈最大620万円〉 | | |

※1日の売上高の4割

【R3.3.25～R3.4.12までの営業時間短縮協力要請に伴う協力金支給の変更点】
R3年3月25日～R3年4月12日：72万円(4万円/日×18日間)

R3年3月25日～R3年4月5日：44万円(4万円/日×11日間)

仙台市時短要請等関連事業者支援金を拡充します！

【県による時短要請の対象者向け】

対象月の売り上げが50%以上減少し、売り上げ減少額が150万円以上300万円未満の方も新たに対象となります。



| | 減少額 300万円以上 | 減少額 追加 150万円以上300万円未満 |
|-------|----------------|--------------------------|
| 法人 | 50～120万円 | 20万円 |
| 個人事業主 | 25～60万円 | 10万円 |

【関連事業者向け】

宮城県・仙台市による緊急事態宣言による影響を受けた事業者の方、売り上げ減少率が30%以上50%未満の方も新たに対象となります。



| | 減少率 50%以上 | 減少率 追加 30%以上50%未満 |
|-------|--------------|----------------------|
| 法人 | 最大30万円 | 最大20万円 |
| 個人事業主 | 最大15万円 | 最大10万円 |

【関連事業者向け】に申請できる対象事業者の例

時短要請対象外飲食店、飲料・酒類卸売業、理容・美容業、冠婚葬祭業、イベント運営者・出演者、食品加工・製造業、観光施設・土産物屋・宿泊施設、遊興施設

仙台市議会 令和3年度 第1回定例会 一般質問

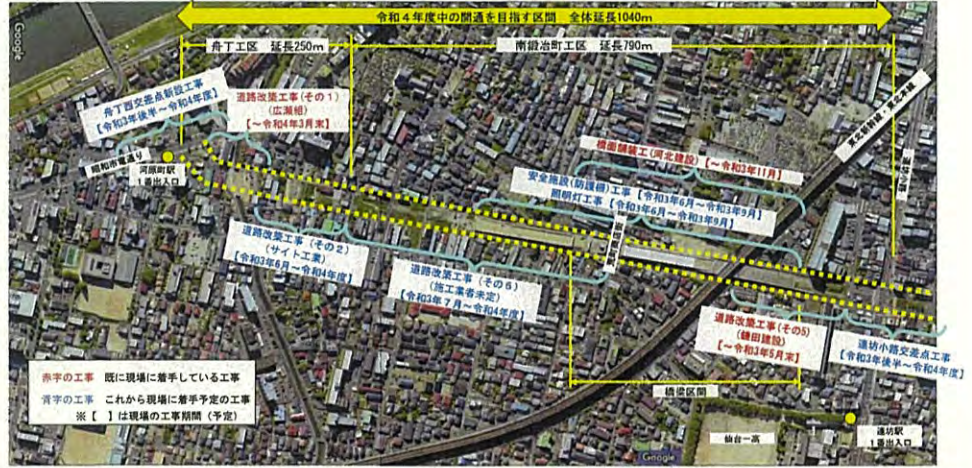
①《宮沢根白石線舟丁・南鍛冶町工区の進捗状況》

◎ 昭和市電通り～連坊小路の区間、令和4年度中の開通を目指します

宮沢根白石線の完成により、これまで仙台～高前や南鍛冶町、南材地域で慢性的に起こっていた朝晩の渋滞が緩和され、交通の利便性が各段に高まります。地域の方より舟丁工区の工事がここ数か月遅延しており、いつ再開するのかと声が寄せられました。工事が遅延すると水道、ガスの工事や開通する南鍛冶町・舟丁工区の工期の遅れが懸念されます。

Q: 工事の進捗状況と今後の見通しに併せて、今回の工事がストップしている状況に関して、連合町内会長や関係する単位町内会長にも情報提供があってもよかったですのではないかと。

A: 連坊から河原町までの南鍛冶町工区と舟丁工区においては現在道路改築工事や電線共同溝工事を進めている。令和3年度末の開通を目指していたが、受注社の破産により、工事を再発注する必要が生じ、開通は令和4年度になる見込みだ。近隣の町内会へ情報提供すべきであったと考えており、今後改めて現状の説明を行い工事進捗の周知を図っていく。(建設局長)



②《仙台市 LINE 公式アカウントについて》

◎ LINE 公式アカウント概要

- ・令和3年1月15日(金)より、仙台市 LINE 公式アカウント開設
- ・市政情報の配信のほか、知りたい情報を簡単に知ることができる

Q: 本市ではコロナ情報をはじめ、自動応答メッセージ機能を利用した情報発信やタイムラインでの市政・イベント情報の発信に、現状とどまっている。今後、多くの方々に利用していただくために、発信する情報や機能など、市民が求めているニーズの調査・把握が必要と考えるが、ご所見を伺う。

A: 登録者に対しては、LINE 上でのアンケートが可能なので、今後発信してほしい情報の内容や機能などに関して、意見を伺いたいと考えている。また、LINE を登録されていない方々に対するアンケート実施についても検討していく。今後とも関係部局と連携しながら、内容の充実等を図り、さらなるユーザーの拡大につなげていきたい。(郡市長)

Q: 本市では、ワクチン接種に関し、仙台市医師会の皆様のご協力をいただき、市内400カ所を超えるかかりつけ医による個別接種と市民センターなどでの集団接種を併用する所謂「練

馬区モデル」を参考にした接種体制の導入が検討されている。現在、システムの構築やスケジュールに向けてワクチン推進室にお取組みをいただいているが、併せて、市民へ向けての積極的な情報公開は重要である。予約システムへの案内やワクチン接種ができる場所の周知なども含め、本市ホームページはもとより、プッシュ型の LINE 公式アカウントで発信することで、周知の一端を担えると考えているが、ご所見を伺う。

A: 円滑に接種を進めるためには、ワクチンの供給状況や予約状況など本市のワクチン接種に関する情報を速やかにお伝えすることも効果的だと認識している。正確な情報をお伝えし、多くの方に関心をもっていただくためにも、LINE の活用を含め、適切な情報発信に努めていく。(健康福祉局長)

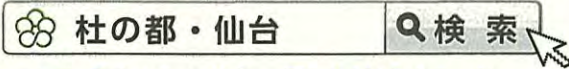
仙台市公式 LINE QR コード



令和3年3月17日にLINE利用者の個人情報が中国の関連会社で閲覧可能な状態になったとの報道がありました。仙台市公式LINEアカウントについては、情報発信のみ行っており、住所や氏名等の個人情報の収集は行っていませんので、引き続き安心してご利用ください。

③《「都の杜仙台」について》

◎ 「都の杜・仙台」概要



- ・令和元年5月に発表された仙台の新たな地域ブランド
- ・仙台市域の事業者が集まって仙台市域の魅力を地域外に発信するプロジェクト

Q: 本市では、令和元年5月に「都の杜・仙台」の地域ブランドを立ち上げ、令和2年11月からはECサイトを開設するなど、地域産品のブランディングや販路拡大、地域商社機能の構築に取り組んできた。しかし、現在「都の杜・仙台」に登録している事業者数は84社とまだまだ周知不足は否めない。地域ブランドの魅力向上のためにさらなる広報発信を行い、参画事業者の意識を高め、ECサイト利用者のニーズに答えていく必要がある。地域ブランド力の向上や魅力・特典のあるECサイトを作っていくために、参画事業者と経済局が一体となって推進すべきと考えるが、ご所見を伺う。

A: ブランドを立ち上げて以降、参画事業者を対象として、専門商社等を招いてのセミナーや商談会、地元百貨店による販路開拓支援や商品の磨き上げの他、今年度からはECサイト構築などに取り組んできた。今後、参画事業者・支援事業者・本市が緊密に連携して、より効果的なECサイトの活用や、さらなる周知広報に努めていく。(経済局長)



欲しい情報を手軽に
せんだいのびすくナビ
3月1日OPEN!

子育て中の皆さん、子育てに困って行き詰った経験はありませんか？そんな皆さんを手助けしてくれるのが「せんだいのびすくナビ」です！お住まいの地域を設定すると、その地域のイベント情報や施設を確認できたり、お子さんの生年月日などを登録すると年齢にあった情報を受け取ったりできます。子育て中の悩み事や難しい法律関係についてもサポートしてくれます。ぜひ活用ください！



画面イメージ

令和3年度 予算等審査特別委員会

ICT教育の推進

新年度予算：4億5000万円

Q1. GIGAスクール推進校における実践の推進はどんな内容であるか。また、新年度に5校選定するわけだが、GIGAスクール推進校の実践内容をどのように他校に周知していくのか。

A. 一人一台端末における効果的な指導や、児童生徒の学習活動を先進的に行い、事業モデルを含めた報告などをもとに、各学校への普及を図っていく。授業モデルの周知には、GIGAスクール推進校における公開授業、オンデマンドによる授業の配信、成果報告書の配布などにより、各学校に広めていく。
(教育指導課長)

Q2. ICT支援員の試行的配置について、事業内容を伺う。

A. ICT支援員は授業開始前のICT機器設定、授業中の操作機器の補助、ICTを活用した授業づくり研修の企画など、授業や校内研修の支援を行う。
令和3年度においては、ICT支援員をGIGAスクール推進校に配置することとしている。
(教育指導課長)



不登校対策推進事業

新年度予算：1億2500万円

Q1. 本市の不登校対策のメニューはどういったものがあるか伺う。

A. 学校内での居場所となる在籍学級外教室「ステーション」の設置、不登校の児童生徒を受け入れる児童遊の杜や、杜のひろばなどの適応指導事業、教職員への不登校対策の研修や学習支援へのサポート体制事業、学校の別室に相談員を派遣し、個々の児童生徒の支援を行う学校訪問対応相談員の配置、適応指導センター児童遊の杜の相談支援の充実のためのスクールカウンセラーの配置である。
(教育相談課長)

Q2. 本市の不登校児童生徒数は令和元年時点で1,877人と年々増加している。文部科学省の令和元年度公表の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果によると不登校は1000人当たりの件数で、本市は政令指定都市中3番目に多いという結果だった。これは3年連続である。本市では、不登校対策検討委員会を立ち上げ、令和元年3月に報告書を取りまとめ、あれから2年が経過するが、ご認識を伺う。

A. 本市の不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、重要な課題と認識している。これまで、不登校対策検討委員会の提言を受けて、在籍学級外教室「ステーション」の設置、スクールカウンセラーの増員など、相談体制の拡充、適応指導教室杜のひろばの増設など、様々な不登校対策を実施し、不登校の未然防止や、個々の児童生徒の状況に応じた学びの場の確保に努めてきた。引き続きこのような取り組みを広げ、不登校児童生徒の社会的自立につなげるような支援を行っていく。
(教育相談課長)

Q3. 令和元年には教員用の不登校対策ハンドブックが作成された。このハンドブックには、生徒指導における教員の対応や日頃からの取り組みと早期対応・組織的な支援、そういった文言が盛り込まれている。このハンドブックを活用した、教職員間での定期的な研修体制が整っているか伺う。

A. 各校においては、年度はじめに全教職員で不登校児童の状況を確認し、ハンドブックを活用しながら、一人一人に応じた組織的なアセスメント(評価)や支援方法を検討するなど、定期的に研修を行っている。また、年4回の不登校支援コーディネーター研修に参加した担当者が、研修内容を教職員に伝達するなど、共有を図っているところである。
(教育相談課長)

Q4. 不登校児童生徒を減らそうと取り組んでいるが、実際に身を結んでいない。現在取りまとめ中の「教育構想2021」にも相談体制の充実、保護者との連携等により不登校の減少に努めるとあるが、本当に実現できるのか。市長にお考えか伺う。

A. 本市においても、不登校の児童生徒が年々増加しており、教育行政の中でも重要課題であると認識している。仙台市教育構想2021の基本方針の中には学校の中での居場所となるステーションの設置、また、適応支援センターによる相談支援など、不登校の児童生徒の社会的自立を促していく対策として、支援や保護者への相談支援をより一層進めていく取り組み方針を示しているところである。
引き続き、不登校の児童生徒や保護者の皆様方が安心して一人一人に応じた支援を受けることができるように、教育委員会とともに対策の強化を図っていきたい。
(市長)



＜新型コロナウイルスワクチンの接種について＞

4月は個別・集団接種は実施しません！

65歳以上の高齢者施設入所・居住者、高齢者施設従事者から優先的に行います！

■コールセンターについて

●電話番号 **0570-05-5670**

●受付時間
午前8時30分から午後7時まで

●対応内容
◎接種体制や接種スケジュールなど一般的な問い合わせ

◎集団接種に関する予約の受付、変更取り消しなど

●対応言語
日本語以外に5カ国語に対応



仙台市では、医療機関での個別接種と集団接種を組み合わせでの実施をします。5月以降に関しては、ワクチンの供給量を踏まえて判断し、65歳以上の高齢者から摂取を行う予定です。

【個別接種】

●会場 市内468カ所の医療機関(3月31日現在)
●実施日 平日のみ
●予約方法 各医療機関で受け付け
※予約方法は医療機関によって異なります

【集団接種】

●会場 若林区中央市民センター(別棟)、七郷市民センター、六郷市民センター
●実施日 土・日・祝日のみ
●予約方法 電話または専用ホームページで受付
※詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします



猪又たかひろの議案ごとの質問の様子をいつでも確認できます。



▲仙台JCと仙台市のSDGs協定
公益社団法人仙台青年会議所は、SDGsの普及啓発に関する連携協定を仙台市と締結しました。今後も多様性と包括性のある社会の実現に向け、持続可能なまちづくりが力強く進められています。



▲スケートボードパークリニューアル
榴岡公園スケートボードパークのオープンにあたり、記念式典に出席。利用者に向けてパーク完成の経緯や利用についての説明がされました。また、式典終了後にはスケートボード用ワックス講習会で参加者がカーブ(縁石)を育てました。



▲仙台防災未来フォーラム 2021
東日本大震災から10年が経過し、震災の経験や教訓を未来へつなぐために防災を学ぶイベントが開催されました。震災に関する様々なシンポジウムが行われ、子どもも楽しく学べるステージショーやワークショップなども開催されました。



▲JRフルーツパーク仙台あらはま
荒浜の観光農園「JRフルーツパーク仙台あらはま」のオープニングセレモニーに参加しました。震災を経験した土地に賑わいを創出する拠点として、楽しめる施設となっています。地域とともに歩み、さらなる東北の発展を目指しています。

若林区
新年度事業

六郷地区の健康づくり推進 令和3年度 698,000円【新規】

六郷地区は、仙台市全体や若林区内の中でも、幼児期の肥満や働き盛り世代の生活習慣病の割合が高いことが分かっています。そのため、新年度からあらゆる世代を対象とした健康づくり推進事業を行います。

具体的には、住民が主体的に健康づくりについて考える「住民参加型」の場を創るために、ワークショップを開きます。また、幼稚園・保育所・児童館で、子どもや保護者に対する健康的な生活を促したり、小・中学校で授業を通じて健康についての啓発活動を行ったりします。塩分濃度体験や血糖値測定などの気軽に参加しやすいイベントも開催します。



その他にも…

- * 大和小学校の校舎増改築
- * 若林まちなみがき推進 219,000円【新規】
- * 沖野市民センター大規模修繕 23,151,000円
- * 蒲町コミュニティセンター大規模修繕 91,983,000円
- * 海浜エリア活性化 2,044,000円【新規】
- * 道路新設改良(長喜城霞目線等)
- * 橋梁維持補修(土樋南丁線 聖願寺橋等)
- * 海岸公園整備 56,600,000円

などの新年度事業を行います。

認知症は「予防」より「備え」!

私が所属している人生100年時代調査特別委員会で、清山会医療福祉グループ代表の山崎英樹さんと、認知症経験専門家の片倉文夫さんにお越しいただき、意見聴取を行いました。誰しもがなりうる認知症に対して、ならないよう「予防」をするのではなく、なってもいいように「備える」のが大切という言葉に、大きく考え方を改めさせられました。

仙台市では、認知症ケアパス(全市版・個人版・地域版)の発行を行っています。「安心して認知症になれる社会」を目指すためにも、周知の徹底が必要だと思いました。



学生の声を力に!



私の事務所では、県内の大学に通う大学生を春・夏の2か月間インターシップの学生を受け入れています。政治を身近に感じたい、興味があるという方は事務所まで気軽にご連絡ください。

みなさまのお困りごともありませんか?
お気軽にご相談ください!

事務所へのアクセスは

〒984-0816 仙台市若林区河原町1-2-52
TEL.022-216-3351 / FAX.022-216-3352

